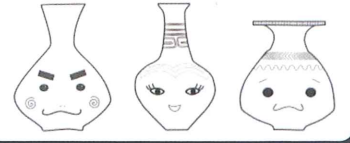


どきどき通信 No.2



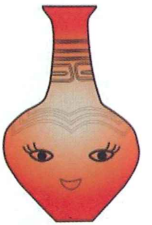
平成 27 年 7 月から 9 月にかけて子ヶ崎遺跡 (川東) と鹿島打上遺跡 (打上) を発掘調査しました。いずれも耐震性貯水槽の設置工事に伴う調査です。

調査対象面積はともに約 90 m² と狭いですが、子ヶ崎遺跡では奈良時代から中世の土器が出土しました。鹿島打上遺跡では弥生時代から古墳時代の建物の跡、中世の溝が見つかりました。

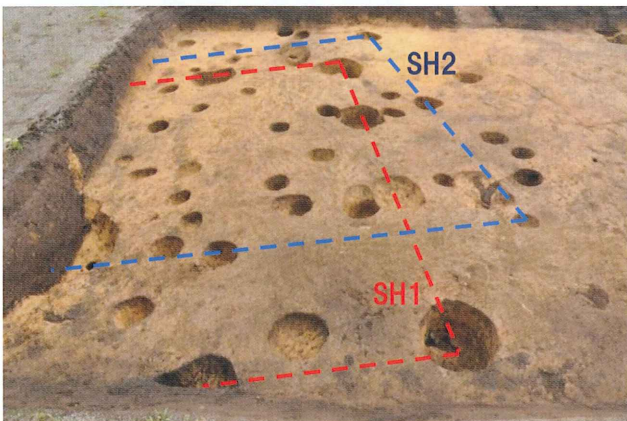
子ヶ崎遺跡は川東公民館の駐車場の一部を調査しました。見つかった遺構は、江戸時代と思われる暗渠あんきょと時期不明の溝ですが、奈良時代から中世の土器が多く出土しました。奈良時代から中世にかけて、近くで人々が暮らしていたことがわかりました。



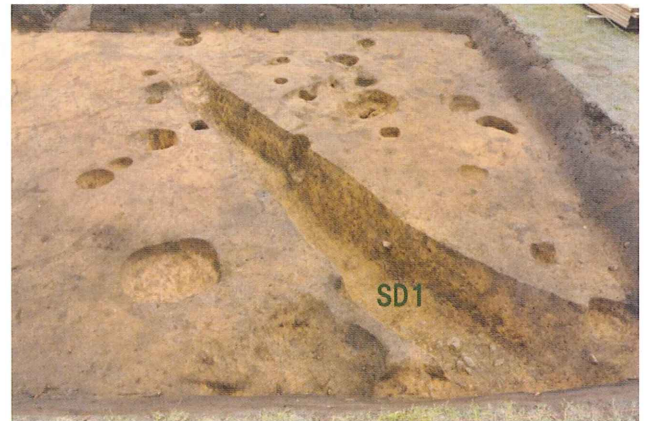
子ヶ崎遺跡



前略、現場から



鹿島打上遺跡



鹿島打上遺跡は、鹿島公園の北側で調査しました。

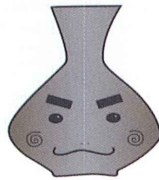
掘立柱建物(SH)は 2軒確認されました。建物の北側が調査区の外まで広がっていますが、分かっているだけで SH1が東西3間・南北2間、SH2が東西2間・南北2間分の大きさがあります。(柱と柱の間を1間けんと数えます。)

溝(SD1)は北東方向から流れていますが、調査区の南西の角あたりで北西方向にほぼ直角に向きを変えるとみられます。幅は60cmから1mほどで、深さは浅いところでは数cm程度ですが、一番深いところでは約70cmあります。溝の断面を見ると、アルファベットの「V」のように急な角度で掘りこまれています。直角に曲がるV字状の溝であることから、屋敷などをかこむ区画溝と考えられます。

逸品コーナー



僕、白岩君。よろしくね！



白岩遺跡から出土した弥生時代の壺です。

白岩遺跡は菊川西中の西、西方川と東名高速道路が交わる付近にあります。

「白岩式土器」は弥生時代中期後葉（約 2,000 年前）の標識土器です。前号で紹介した「嶺田式土器」（弥生時代中期中葉、約 2,100 年前）より新しいものです。

（実年代には諸説があります）

今年度もレプリカ作成中

平成 26 年度には白岩遺跡出土の柿と殿ヶ谷遺跡出土の漆皿のレプリカを作成しました。

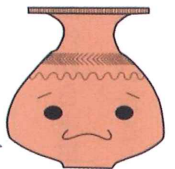
今年度は、東京国立博物館に所蔵されている、上平川大塚 1 号墳出土の銅鏡のレプリカを作成しています。

この銅鏡は三角縁神獣鏡で「卑弥呼の鏡」とも呼ばれているものです。

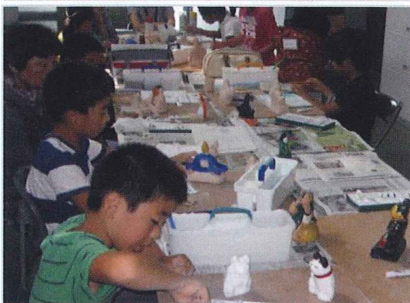
大正時代に発見された後、東京国立博物館に所蔵されました。埋蔵文化財センターの整備の一環として、レプリカ（複製品）ではありますが、約 90 年ぶりに帰ってきます。

3 月下旬には展示できると思いますので、ご期待ください。

仲間が増えるね！
楽しみい〜。



大好評!! ときどきフェスティバル



今年度で 2 回目となるときどきフェスティバルを 7 月 26 日（日）と 8 月 9 日（日）に開催しました。

小学低学年以下の「土器作り」と高学年の「焼きびな作り」の 2 コースです。

土器づくりでは個性的な土器がたくさんできました。

焼きびな作りでは、郷土の伝統にのっとりながらも、オリジナルの焼きびなを作りました。

来年度も開催予定です。



菊川市埋蔵文化財センター

ときどき

開館時間 8:15~17:00
定休日 土日 祝日 年末年始
入館料 無料

菊川市教育委員会 文化振興係

〒437-1514 静岡県菊川市下平川 618-1

TEL 0537-73-1137

FAX 0537-73-1138



©菊川市

ときどきに
遊びに行こう！

